



うれしいね一年生

(七塚小学校)

CONTENTS 平成19年5月

平成19年 第1回 定例会	2
平成19年度予算を可決	6
庁舎整備調査委員会報告	8
議会活性化項目	10
一般質問(6人が登壇)	11
常任委員会レポート	17

議員の 費用弁償廃止

編集/かほく市議会広報特別委員会

ホームページ: <http://www.city.kahokuishikawa.jp>
発行/石川県かほく市議会 住所/石川県かほく市野尻1-81番地

Eメール: gikai@city.kahoku.shikawa.jp
TEL: 076(283)7129 FAX: 076(283)7188

新しい議会組織決まる

3月13日の議会最終日、議会人事案件が提出され、新たな議長に別宗明敏議員(59歳・外日角)、副議長に沖津千万人議員(46歳・秋浜)が選出された。また、5月8日に任期満了となる常任委員会などの委員の改選が行われた。

第4代議長に別宗氏、副議長に沖津氏



就任の挨拶

議長 別宗 明敏
(59歳・外日角)

名誉あるかほく市議会の4代目の議長に就任いたしました。
浅学菲才の身でございますが、安心・安全なまちづくりのために、市政と議会が両輪のごとく、市政反映、福祉向上のために努力する所存です。
市民の皆様には、今後とも議会へのご支援、ご指導を賜りますようお願いいたします。



就任の挨拶

副議長 沖津 千万人
(46歳・秋浜)

指名推薦という形で、全議員の皆様方より、ご承認いただき、第4代の副議長に就任をいたしました。
歴代副議長が大切にしてきた融和の精神を私も大切に、議長を補佐してまいります。
若輩ではございますが、今後共ご指導賜りますよう、宜しくお願い致します。

議会の組織

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|------------|------------|-------------|----------|-------------|----------|-------------|----------|-------------|----------|-------------|----------|-------------|----------|-------------|----------|-------------|----------|-------------|----------|
| 議長 別宗 明敏 | 副議長 沖津 千万人 | 委員 長 山口博之丞 | 副委員 長 宇野 順一 | 委員 杉本 成一 | 副委員 長 西田 正剛 | 委員 中村 修一 | 副委員 長 荒井三喜雄 | 委員 西田 正剛 | 副委員 長 中村 修一 | 委員 金田 正一 | 副委員 長 荒井三喜雄 | 委員 山田 孝一 | 副委員 長 宇野 順一 | 委員 猪村 博靖 | 副委員 長 遠田 明敏 | 委員 猪村 博靖 | 副委員 長 遠田 明敏 | 委員 金田 正信 | 副委員 長 金田 正信 | |
| 委員 多々見 武 | 委員 中村 修一 | 委員 西田 正剛 | 委員 杉本 成一 | 委員 山田 孝一 | 委員 猪村 博靖 | 委員 猪村 博靖 | 委員 猪村 博靖 | 委員 猪村 博靖 | 委員 猪村 博靖 | 委員 猪村 博靖 | 委員 猪村 博靖 | 委員 猪村 博靖 | 委員 猪村 博靖 | 委員 猪村 博靖 | 委員 猪村 博靖 | 委員 猪村 博靖 | 委員 猪村 博靖 | 委員 猪村 博靖 | 委員 猪村 博靖 | 委員 猪村 博靖 |



議会を
傍聴し
ませんか

【インターネットを接続している方へ】
議会は、かほく市ホームページで、次のとおり紹介しています。ぜひご覧ください。
映像ライブラリ (開催の当日に生中継)
市ホームページ→映像ライブラリ→見るの順で開いてください。

●次の定例会は、6月です。

インフラ整備事業を重点に

平成19年
第1回
定例会
3月2日～13日

平成19年3月2日から12日間の会期で第1回定例会を開催、一般会計予算など42議案を審議し、原案のとおり可決・承認した。
また、人事案件4件の任命に同意したほか、議会議案4件を可決した。
議長及び副議長の辞職願が最終日に提出され、新たな議長に別宗明敏議員、副議長に沖津千万人議員が選出され、満場一致で選任された。



ケーブルテレビ整備、赤ちゃんすくすく応援事業、高松北西部地区統合保育園の設計、七塚小学校耐震補強工事などに予算を計上

- 19年度一般会計予算
- 19年度土地取得特別会計予算
- 19年度市営バス事業特別会計予算
- 19年度墓地特別会計予算
- 19年度国民健康保険特別会計予算
- 19年度老人保健特別会計予算
- 19年度介護保険特別会計予算
- 19年度大海財産区特別会計予算
- 19年度下水道事業特別会計予算
- 19年度水道事業会計予算

※P6～7参照
(以上、全員賛成)



復旧された北部農免道路(余地・上大田間)

専決処分

消防本部通信指令装置及び七塚武道館の落雷による修繕費に315万円、石川海区漁業調整委員会の補欠選挙費用に136万円を専決処分するもの。
(全員賛成)

18年度一般会計補正予算の主なもの

歳入歳出それぞれ10億5千593万円を増額し、15億3万円とした。
(全員賛成)

歳入の主なもの

● **市税**
法人市民税で5千350万円の増、個人市民税で660万円の増、市たばこ税で4千860万円の減額。
差し引き1千150万円の増額。

● **地方交付税**(国から)
1億5千875万円増額。

● **分担金及び負担金**
換地精算受任事業地元負担金で4千886万円の減額。

国庫支出金(国から)

情報通信基盤整備推進交付金(CATV補助金)で4億4千482万円増額。

● **県支出金(県から)**
果樹園整備補助で60万円増額。

● **財産収入**
土地売却収入で571万円増額。

● **諸収入**
高松北西部地区土地区画整理受託事業収入で1千600万円減額。

万円減額。
ごみ収集協力金で277万円増額。

歳出の主なもの

● **総務費**
宇ノ気庁舎維持管理で108万円、ケーブルテレビ整備に13億4千771万円、交通安全施設整備で146万円、自治振興補助金で38万円の増額。

● **土木費**
道路側溝改修(雨水排水整備)で1億3千万円増額、下水道事業特別会計繰入金を1億5千万円減額。

● **民生費**
子育て支援センター移設費で93万円計上。

● **衛生費**
斎場施設組合負担金で580万円、廃棄物収集運搬処理委託で1千32万円減額。

● **農林水産業費**
ルビローマンモデル果樹園整備補助金で78万円増額、担い手育成基盤整備で1億828万円減額。

● **商工費**
商工振興対策補助金で700万円減額。

18年度特別会計補正予算の主なもの

- ◆**土地取得**
基金積立金7万円を増額するもの。
- ◆**市営バス事業**
県補助金の確定により、26万円を減額するもの。
- ◆**墓地**
墓地永代使用料37万円を減額するもの。
- ◆**国民健康保険**
保険給付費で5千467万円増額するもの。
- ◆**老人保健**
医療費の精算により1億4千538万円減額するもの。
- ◆**介護保険**
後期高齢者医療制度に関する電算システム改修で283万円を計上するもの。
- ◆**下水道事業**
事業の精算により、基金積立金1億1千170万円を積み立てするもの。
- ◆**水道事業**
事業の精算により、収益的支出で129万円増、資本的支出で配水設備費7千753万円を減額するもの。
(以上、全員賛成)

▼**副市長定数条例の制定**
副市長の定数を1名に定めるもの。
(全員賛成)

▼**特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正**
「適正就学指導委員会委員」の名称を「就学指導委員会委員」に改めるもの。
(全員賛成)

▼**職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正**
職員の休憩時間を廃止するもの。
(全員賛成)

▼**一般職の職員の給与に関する条例の一部改正**
人事院勧告に伴い、3人目以降の扶養手当を変更するもの。(月5千円→6千円)
(全員賛成)

▼**心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正**
結核予防法の廃止に伴い、所要の改正をおこなうもの。
(全員賛成)

▼**乳幼児医療費給付に関する条例の一部改正**
題名中の「乳幼児」を「乳幼児等」に改め、入院費の医療費助成を中学校卒業まで拡大するもの。
(全員賛成)

▼**農業委員会委員の定数条例の全部を改正する条例**
「農業委員会等に関する法律」の一部改正に伴い、委員定数の内訳を変更するもの。
(全員賛成)

▼**水道事業給水条例の一部改正**
給水装置工事費の市負担割合の変更をおこなうもの。
(全員賛成)

▼**公共下水道条例の一部改正**
下水道法施行令の一部改正に伴い、所要の改正をおこなうもの。
(全員賛成)

▼**スポーツ振興基金条例の一部改正**
基金積み立ての財源を歳

入歳出予算で定める額により積み立てることができるよう改正するもの。
(全員賛成)

▼**金沢市・かほく市・津幡町・内灘町消防通信指令事務協議会の設置**
規約を制定し、協議会を設置するもの。
(全員賛成)

▼**市町村消防員等公務災害補償等組合規約の変更**
更

▼**市町村消防賞じゅつ金組合規約の変更**
更

▼**石川中央広域市町村圏協議会規約の変更**
更

を指定し、指定管理期間を1年から5年に変更するもの。
(全員賛成)

▼**市道の路線認定**
長柄町地内の市道路線を新たに認定するもの。
(全員賛成)

▼**市道の路線変更**
大型商業施設の進出に関連し、内日角33号線を拡幅延伸するため、路線変更するもの。
(全員賛成)



統合される消防通信指令業務

条例・規約の改正など

▼**地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定**
「助役」を「副市長」に、「収入役」に代わって一般職の「会計管理者」を設置

するほか、「吏員」を「職員」に改めるなど所要の改正を一括して改正するため制定するもの。(副市長は4月1日から、収入役については経過措置あり)
(全員賛成)



議会議案

議員の費用弁償廃止へ 年間93万円の経費節減

◎**議会議員の報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正**
議員が会議等に出席した場合の費用弁償を廃止するもの。

提出者 竹内 幹雄
賛成者 別宗 明敏 富澤 明次
(全員賛成)

◎**議会委員会条例の一部改正**
正

◎**議会会議規則の一部改正**
地方自治法改正に伴い、所要の改正を行うもの。
提出者 中村 修一
賛成者 沖津 千万人 多々見 武
(全員賛成)

選挙

◎**市長の選挙**
◎**副市長の選挙**
(20ページに記載)

◎**石川県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙**
石川県後期高齢者医療広域連合議会の広域連合議員に杉本正一議員が選出された。
(全員賛成)

人事案件

◎**公平委員会委員の選任同意**
平成19年4月27日任期満了となる公平委員について、松本真澄氏(外日角)の新任に同意した。

◎**固定資産評価審査委員会委員の選任同意**
平成19年4月27日任期満了となる固定資産評価審査委員について、竹中藤藏氏(高松)の再任に同意した。

◎**大海財産区管理会管理委員の選任同意**
平成19年5月14日任期満了となる大海財産区管理会管理委員について、次の方の選任に同意した。

- 宇野 順一(箕 打)
- 江上 捷治(箕 打)
- 山本 進(黒 川)
- 中川 昇(野 寺)
- 北 光義(瀬戸町)
- 林 正一(中 沼)
- 東 隆秀(二ツ屋)

◎**教育委員会委員の任命同意**
平成19年4月27日任期満了となる教育委員会委員について、中田節子氏(中沼)の新任に同意した。

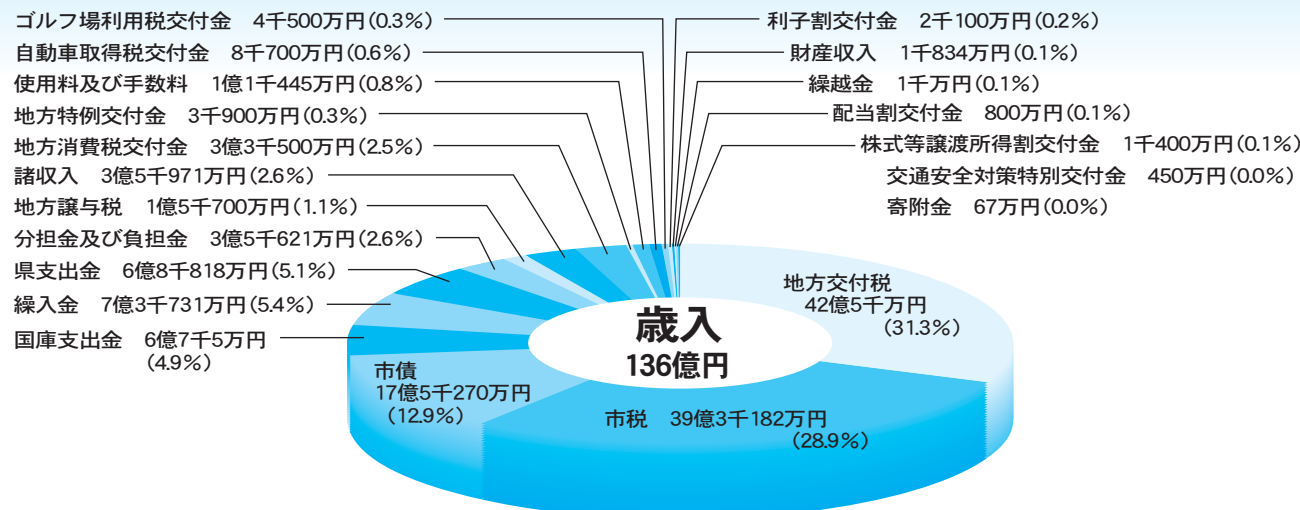
「選択と集中」

主要施策は各種計画

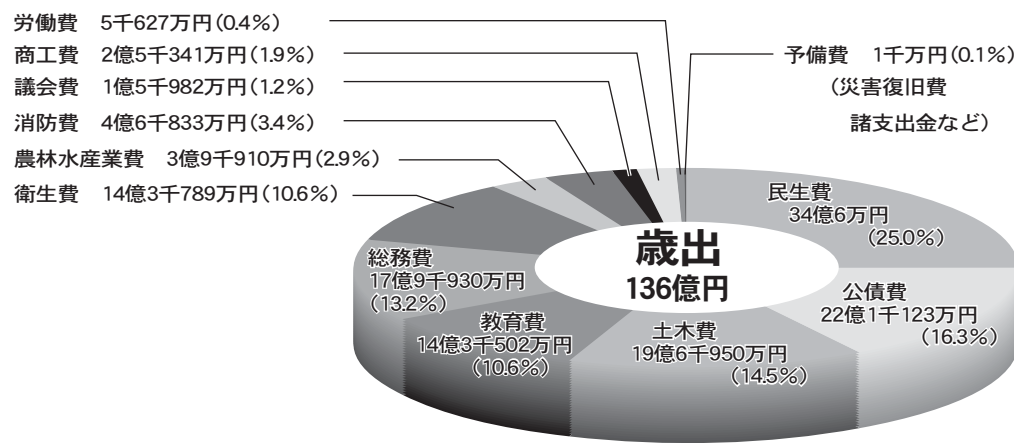
にもとづき予算配分

平成19年度 一般会計予算の内訳

歳入



歳出



特別会計予算

土地取得特別会計	9千189万円	下水道事業特別会計	29億1千600万円
市営バス事業特別会計	2千503万円	特別会計合計	124億2千552万円
墓地特別会計	1千680万円	水道事業会計	
国民健康保険特別会計	35億130万円	(収益的収入)	6億9千220万円
老人保健特別会計	36億2千240万円	(収益的支出)	6億4千366万円
介護保険特別会計	22億4千580万円	(資本的収入)	3億239万円
大海財産区特別会計	630万円	(資本的支出)	5億7千988万円

市長施政方針

市長 油野 和一郎



合併してからの3年間、順風満帆とは云えないまでも、それなりに円滑に市政運営を進めて来ることができた。

平成17年度には、第1次総合計画や行政改革大綱など、市のまちづくりの礎として、これらを策定することができた。そして平成18年度は、その礎を基にして各種の施策に取り組み、順次、計画を進めている。

また、かほく市の誕生に伴い、各団体や各組織

平成19年度の主要施策は「選択と集中」によって優先順位を明確にした事業であり、将来の発展・活性化のために市として取り組むべきと考えている。

今年度は合併して4年目となり、私にとりましても締め括りの1年となる。残り1年が厳しい財政状況ながらも、最善の市政運営となるよう全力を尽くしたい。

19年度予算の新規及び拡充事業

- CATV整備【1億8千490万円】(18年度より繰越13億4千771万円、合計15億3千220万円)
- 難視聴地域の解消と行政情報伝達の迅速化、高度化を推進
- 高松北西部地区統合保育園の設計【1億9千45万円】
- 高松第二、第四保育園を統合(実施設計、用地購入)
- 赤ちゃんすくすく応援事業【900万円】
- 新生児の家庭に3万円の商品券を支給
- コミュニティバス実証実験【2千332万円】
- コミュニティバス導入に向けた実証実験の実施
- 七塚小学校耐震補強工事など【2億2千500万円】
- 外日角小学校耐震補強設計【600万円】
- 児童手当支給額の拡充【2億9千743万円】
- 0歳〜2歳児の支給額を月額5千円を1万円に拡充
- 乳幼児等医療費支給対象の拡充【5千135万円】
- 入院医療費について中学校卒業まで拡充
- 子育て支援センターの充実【2千554万円】
- しらゆり保育園内のセンターを七塚勤労青少年ホームに移設など
- 障害者自立支援給付費の創設【3億1千387万円】
- 不妊治療費の助成【130万円】
- 妊婦検診の拡充【902万円】
- 2回〜5回へ拡充
- 健康づくり教室で「早寝早起き朝ごはん」の推進【59万円】
- 行政情報のメール配信【216万円】
- 消防情報を希望者にメール配信
- 消防指揮車の更新【650万円】
- 自動対外式除細動器(AED)の設置【123万円】
- 高松G場、七塚中央公園、ほのぼの健康館、消防本部
- 消防指令業務共同運用に向けた取り組み【380万円】
- 都市計画基礎調査の策定【250万円】
- ホームページの刷新【262万円】
- 市営住宅耐震化計画の策定【262万円】
- 住宅マスタープランの策定【500万円】
- ふるさとクイズの実施【12万円】
- かほく市にちなんだふるさとクイズを広報に掲載し、正解者の中から抽選で、特産品や商品券を贈呈。
- 資源保全向上活動支援事業への補助【347万円】
- 高生産性農業集積促進事業【2千881万円】
- 県営ほ場整備事業受任換地精算【9千921万円】

本庁舎に機能集約で一致

庁舎整備調査委員会

市議会は1月15日、3庁舎に分かれた分庁方式となっている市役所の今後の整備のあり方を調査した結果報告書を油野市長に提出した。

今回の提出を受け、油野市長は2月15日、整備方針(案)を提出し、3月定例会で整備方針を示した。



【報告書内容】

かほく市は平成16年3月に合併し、早や3年を経過しようとしています。庁舎整備の問題については、合併協議の中で最も大きな懸案事項であり、新市になって速やかに検討し、その結果を踏まえるとなっている部分があります。

市議会としても、この問題について充分調査検討すべきと考え、庁舎整備調査委員会を組織し、これまで6回の会議を重ね、慎重審議をまいりました。

平成18年6月8日には、市民の代表で組織された庁舎整備検討委員会が立ち上がり、そ

ここで審議された内容の報告を受け、それを踏まえて行政庁舎及び消防庁舎の整備方針について検討を重ねました。

財政状況をはじめとする様々な問題点を勘案した上で、別紙「かほく市庁舎整備のあり方」のとおり取りまとめました。庁舎整備計画策定に当たっては、先に提出されました庁舎整備検討委員会の提言と比較検討され、市民の利便性を充分考慮しながら、今後の行政需要にも対応できる、また行政運営が効率的に行える庁舎整備となるよう念願し、本庁舎整備調査委員会としての調査結果報告といたします。

2中学校完成

河北台・宇ノ気

合併後の大型事業の一つ、河北台・宇ノ気2中学校の改築工事が完了し、このたび落成式が執り行われた。

旧校舎は、共に昭和32年に建設されており、以来50年近くの歳月が経過し、この間施設の老朽化が進み、今回の改築の運びとなったもの。

恵まれた自然環境の中で、鉄筋コンクリート造りの校舎棟をはじめ、体育館並びに屋外運動場が立派に完成し、河北台中学校には534席の講堂、宇ノ気体育館には総合型地域スポーツクラブ「クラブレッツ」のクラブ

ハウスが併設されるなど地域住民の交流施設も兼ね備えた一大威容を誇る学園の実現を見るに至った。

教育は「国家百年の大計」であり、国際社会の一員として未来を切り開いていくためには、教育の充実が必要である。

21世紀の教育に対応した、地域と共に歩む、地域に開かれた学校施設で、本市の学校教育目標である「将来のかほく市を担う心豊かでたくましい児童生徒の育成」が一段と進むものと期待する。



河北台中学校外観



河北台中学校講堂ホール



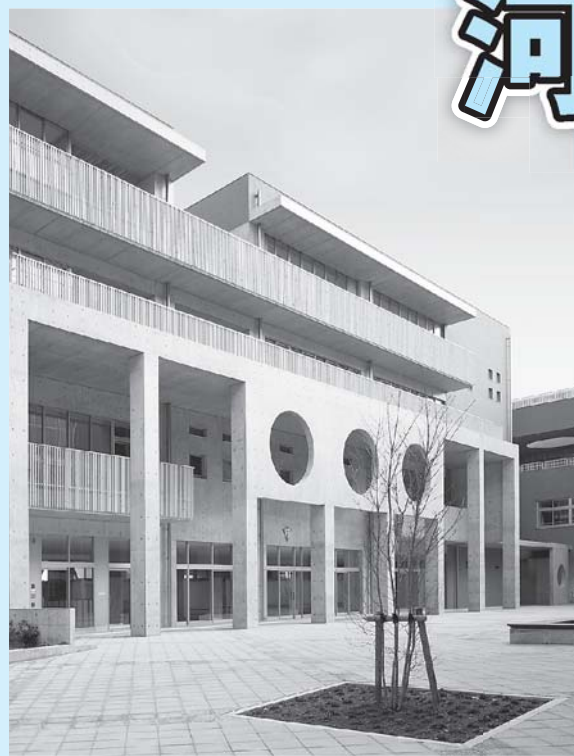
河北台中学校ランチルーム



宇ノ気中学校多目的スペース



宇ノ気中学校屋上



宇ノ気中学校外観

〔事業内容〕

河北台中学校

- 施設の概要
 - 校舎棟 鉄筋コンクリート造3階建て
 - 延床面積 8千977㎡
 - 講堂棟 鉄筋コンクリート造2階建て
 - 延床面積 1千581㎡
 - 体育館棟 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建て
 - 延床面積 2千909㎡
 - 屋外運動場 クレー舗装
 - 面積 6千400㎡
 - 用具庫棟 1棟
 - 駐車場 45台
- 工期
 - 平成16年10月～平成19年1月
- 事業費
 - 36億6千3万円
 - (外構工事、解体工事、電波障害対策工事含む)
- 測量試験費
 - 1億3千86万円
- 備品費
 - 7千136万円
- 財源内訳
 - 国庫支出金 4億5千278万円
 - 市債 27億8千630万円
 - 一般財源 6億2千318万円

宇ノ気中学校

- 施設の概要
 - 校舎棟 鉄筋コンクリート造4階建て
 - 延床面積 8千283㎡
 - 体育館棟 鉄筋コンクリート一部鉄骨造3階建て
 - 延床面積 4千488㎡
 - 屋外運動場 クレー舗装
 - 面積 1万4千200㎡
 - 附属棟 1棟
 - 用具庫棟 1棟
 - 駐車場 67台
 - 駐輪場 300台
- 工期
 - 平成16年10月～平成19年3月
- 事業費
 - 36億1千707万円
 - (外構工事、解体工事、電波障害対策工事含む)
- 測量試験費
 - 1億2千644万円
- 備品費
 - 7千80万円
- 財源内訳
 - 国庫支出金 4億5千435万円
 - 市債 30億9千350万円
 - 一般財源 5億6千81万円
- 用地補償費
 - 2億9千434万円
 - (用地購入費及び家屋移転補償費)



「市民に開かれた議会」、「市民に親しまれる身近な議会」を目指すためにも議会の活性化が必要とのことから、委員6名による議会活性化推進委員会を組織し協議を重ねてきた。昨年12月に同委員会が議長に答申書を手渡し、現在、議員協議会などで各議員が意見を出し合い、答申内容をさらに検討しながら実施に向け取り組む。

一問一答方式の採用へ

実施している
項目
1

- ① 例月全員協議会（議員協議会）の開催
- ② 議会中の映像は市役所（支所）以外にも広めること
- ③ 会派制をとる
- ④ 議会だよりに用語解説や議案に応じた具体的でわかりやすい情報の提供

短期
18年度中に
取り組んだ
項目
2

- ① 行政改革大綱の進捗状況を審査する委員会の設置
- ② 執行機関や市の出資法人ならびに補助団体に對する監視機能の強化
- ③ 議員の費用弁償の廃止
- ④ 請願紹介議員の役割の明

- ⑤ 議会視察報告書の公開
- ⑥ 議員の研修会・勉強会の開催
- ⑦ 来庁者向け議会掲示板の設置（議会開催日の掲示）
- ⑧ 常任委員会の視察研修時に、関係する課員の同行を認める

中期
今任期中に
取り組む
項目
3

- ① 本会議一般質問への一問一答方式の導入及び対面式演壇の採用
- ② 一般質問の回数及び時間の再考
- ③ 全員協議会及び常任委員会の公開
- ④ 議員の審議会等への参画の見直し
- ⑤ 議会ホームページの充実（質問コーナーの新設含む）及びインターネットによる議会中継など、広報活動の充実
- ⑥ 議員へのパソコン配備

- ⑦ 議会内のペーパーレス化（議会通知、発信通知のメール化）

長期
来期以降に
取り組む
項目
4

- ① 議会への住民参加や住民との協働の推進
- ② 議会及び議員評価制度の推進
- ③ 住民投票条例の制定
- ④ 常任委員会組織の見直し
- ⑤ ケーブルテレビによる議中継及び議会番組の作成（視察研修等）
- ⑥ 常任委員会の会議録をホームページで掲載
- ⑦ 議会事務局の法制担当職員配置
- ⑧ 議会図書室の充実



宇野 順一 議員

Q 本年度から始まる農政改革は、戦後農政の中で最大の改革であり、大きな転換期を迎えようとしている。規模の小さい農家の今後の対策をどのように指導していくのか。

A 本年度から始まる農政改革は、戦後農政の中で最大の改革であり、大きな転換期を迎えようとしている。規模の小さい農家の今後の対策をどのように指導していくのか。

A 石川かほく管内の1市2町による水田農業推進協議会を設立し「産地づくり交付金」より各種助成が受けられるよう誘導していく。

砂丘地ぶどうの耕作放棄対策は

新規就農者の受け入れ態勢を整える

Q 全国に名声を博した砂丘地ぶどうが生産者の高齢化などにより、意欲をなくし、やむなく耕作放棄した方々が大半。砂丘地農業の復興策の考えは。

A 市長 関係機関と連携し、新規就農者の受け入れ態勢を整え、民間企業が耕作放棄



農政改革の説明会

棄地で農業経営に参入できる枠組みについて積極的に検討したい。

Q 営農者はごみの不法投棄が多く苦慮している。農業荒廃地で火災が発生すると大惨事の恐れがある。対応策は。

A 市長 警察の協力も得ながらパトロールを強化し、看板設置など、現地の状況を見ながら検討していく。

農業の担い手育成改革の対策は 水田農業推進協議会を設立

一般質問

一般質問

既存商店街の活性化策は 可能な範囲で支援したい



杉本 正一 議員

Q 大型商業施設進出に伴うまちづくり構想の中で、既存地元商店街との共存共栄となる総合計画は。

A 油野市長 地元購買率が低いので、商工会や各種団体などと連携し、今年度は特に「赤ちゃんすくすく応援事業」の出産祝いなどに商工会発行の商品券を活用する。宇ノ気地区では「街なか再生・目抜き通り整備事業」の第1工区が完成し、再生に向けて取り組みを始

めた。高松地区では「エルのまちさくら商店街」でも独自の活性化に取り組んでいる。今後も商工会を通じて大型商業施設と既存商店街との共存共栄を図られるよう可能な範囲において支援していきたい。



宇野気ふれあい通り完成イベント

文化財の収蔵・展示施設の整備
充実

既存施設の有効活用で

どでの紹介、解説リーフレットの作成に取り組み、「海と渚の博物館」で企画展示会を実施し、広く市民に公開していきたい。

Q 各種文化財の保管は。
A 遠田教育長 七塚生涯学習センター、高松社会福祉センター、元西田記念館、大海小学校など9箇所に分散収蔵している。
Q 分散している展示の一元化、文化財の紹介など、それらを解説し、ふれあう方が必要では。
A 教育長 文化財の適切な収蔵、活用を図るため、既存施設を有効に活用し、一元的な管理、収蔵に向け取り組みしていきたい。広報な



安達 肇 議員

Q イオンが進出を計画している周辺地区では、大雨の時、道路が浸水しており、住民の方は、大型商業施設の建設に伴い浸水地域が拡大することを心配している。現在整備している雨水幹線の効果は。

A 油野市長 周辺地区を含む根本的な対策は、現在2市2町により、河北潟周辺

の浸水対策を検討しているが、河北潟の水位を下げることは容易でなく、市町での対策は困難な状況である。今後も引き続き国・県に要望していく。

A 東企業局長 開発区域内の雨水排水対策は、イオンが行い、周辺への浸水拡大は起こらない。
雨水幹線整備により、工事完了後は効率のよい流れとなる。将来的な対策とし

て、雨水幹線の増設や、宇ノ気川への強制排水も検討していく。

Q イオン及び周辺住民のための周辺環境整備は。
A 市長 当該区域を周回できるよう既存道路の拡幅や新設工事を行う。また、右折専用レーンを設けるなど渋滞緩和策も講じる。

イオンと市が連携して環境整備に取り組むと共に、地元住民の意見を聞き、対処できるものについては前向きに検討していく。



雨水幹線整備工事（イオン計画地）

ケーブルテレビ
自主放送番組の
取り組みは
職員による撮影
で市内トピックスを

Q どれだけ情報化が進もうとも、我がかほく市でしか提供できない情報を発信するため、自主放送は重要では。来年4月開局に向けた、19年度の取り組みは。
A 市長 情報化と生活利便性の向上を図るため、自主放送は非常に重要である。来年度は、なるべく職員による撮影で、市内の話題やトピックスを取り上げ、開局後に使用できるコンテンツをつくる。

イオン計画地の雨水幹線整備効果は 工事完了後は効率のよい流れとなる

一般質問

一般質問

「マタニティマーク」の普及啓発は ホームページや広報で周知する



遠田 順 議員

Q 妊産婦初期の方などに配慮を促す「マタニティマーク」の活用は。

A 油野市長 ほのぼの健康館をはじめ関連公共施設に掲示している。今後、母子手帳の交付時にマタニティマークのキーホルダーなどのグッズを配布し啓発を図る。

「スポーツ拠点づくり推進事業」に取り組みを

該当競技がないか研究していきたい

Q 特定のスポーツを一つの地域で継続して開催し、そのスポーツを「まちの顔」とすることで地域の活性化



ハート・プラスマーク



マタニティマーク

を図る「スポーツ拠点づくり推進事業」を取り組んでみる考えは。

A 遠田教育長 毎年5月に開催している新化旗争奪全国中学校選抜剣道大会が該当しないか問い合わせた結果、指定は同一競技で全国一カ所であり、すでに大阪府で開催されている。今後、ニースポーツを含めた市の各競技協会と連携を取り研究していきたい。

「ハート・プラスマーク」の取り入れ状況は

現状はないが今後検討する

Q 心臓や腎臓、腸など内臓に疾患や機能障害を抱えながら認知されにくい「内部障害者」への理解を広げる「ハート・プラスマーク」を普及せよ。

A 市長 現在、かほく市ではハートプラスマークの具体的な普及活動は行っていないが、障害者の方々にとって暮らし易いまちづくりのため普及活動を検討していきたい。



富澤 明次 議員

Q 消防法で住宅火災警報器の設置を新築住宅では18年6月から、既存の住宅は20年から3年間の間に設置の完了を定めている。条例ではまだ先だが、当市の現在の普及状況とこれからの取り組みを示せ。

A 油野市長 2月末までに7・3%の世帯に設置されている。消防本部で取り付け業者に普及促進の説明会を行い、地区の各種総会や民生委員の会合など60回以

「運転免許自主返納者にバス・電車の助成を

助成制度は考えたくない

Q 70歳以上の人は運転免

許証の更新時に有料で自動車学校で講習を受けた後に更新手続きをしなくてはならない。体力や運転に自信のない人は免許証の自主返納制度がある。返納された方に交通機関の割引バスを発行する考えは。

A 市長 運転免許証の自主返納について助成は考えていない。高齢者の方が加害者や被害者となる交通事故が年々増加傾向にある。高齢者交通安全教室などの機会を捉え、運転免許証返納も含め、啓発したい。



市販されている火災警報器

全国ねりんピックの実施競技誘致を積極的に体制を整える

Q 2010年に石川県でねりんピックが開催される。かほく市の魅力発信に向けて、実施競技の誘致を働きかけては。

A 市長 かほく市の魅力や長いもなどの特産品を全国発信できる絶好の機会を、誘致に向け積極的に体制を整える。

※全国ねりんピック

全国健康福祉祭のことで、長寿社会を健やかで、明るいものとするため、健康づくりや社会参加の各種イベントを開催するもの。

住宅火災警報器の普及率を示せ 2月末7・3%設置済み

一般質問

一般質問

財政状況と今後の見通しは 厳しい状況であり、行財政改革を推進



沖津千万人 議員

小学校の地震対策は

順次計画し進める

Q 小学校の耐震補強工事の整備方針は。
A 市長 老朽化が進んでいる七塚小学校を先に実施し、来年度は外日角小学校、その後は大海小学校体育館に着手していく。全体的な再



耐震工事が待たれる七塚小学校

CATVの通信事業者の選定は 映像と通信を 同一業者で

Q ケーブルテレビ、光ファイバー網の整備計画の中で通信サービスにおいてプロバイダーが一社となる契約は問題が無いのか。
A 市長 市としては映像と通信を同一業者にすることにより伝送路整備において、光ファイバーを同一のルートにて整備をすることも整備費の軽減を図る。また、映像と通信の保守体制にお

編検討も含めて近いうちに施設整備の方針を議論する時期が必要と考える。

いて窓口が一元化されるというメリットもある。今後の光ファイバーを活用した施策の展開などを総合的に検討した結果、映像と通信を一社による契約とすることが、最良であると判断している。

委員会レポート

議会には二つの
常任委員会があり、
審議の内容を報告します。

総務

常任委員会

平成20年度に開局 予定のケーブルテレビ

おもな質疑

(所管事項含む)

安達委員 ケーブルテレビの広報番組制作にかかる、カメラなどの機材購入費用は予算に入っているか。また機器のグレードは。
森田企画情報課長 1億8千400万円の中に入っている。カメラは3台であるが、不足の場合委託になる。グレードは予算内で良いものを購入。
寺内委員 ケーブルテレビの19年度引き込みで、今後の工事日程、区間、距離は。
森田課長 メイン幹線が14kmで、周辺幹線は数十km、5月に発注予定。その後、細かく地区説明に入る。12

月から市内一円に着手。
沖津委員長 今回予算が付いているイオン関連で、イオンとの契約手続きは順調なのか。
森田課長 1月末に市とイオンで開発協定を結んだ。
金田委員 予算中、パソコンサステムの開発委託料とか、借上げ料が多く毎年増えているが、値段交渉など含め今後は。
中田総務部長 基本的には現状維持または減額だが、税務、福祉関係などの制度改正があるので、新たに増える業者と厳しい交渉をし、減らす努力をしている。
杉本委員 歳入で税滞納の徴収率を何パーセント見込んでいるか。
油野納税課長 1千131万円の根拠は特殊要因などを除き、17パーセントを予測している。

る宝達山にも設置しては。
岡本消防長 今後、多くの研究課題の一つと考える。
寺内委員 イオン関連のインフラ整備での総額は。また、税収の見込み、それと床面積は。
酒井財政課長 18年度1億3千600万円、19年度5億6千500万円。税収の確実な数字は掴んでいない。面積は約1万9千坪程度と思う。

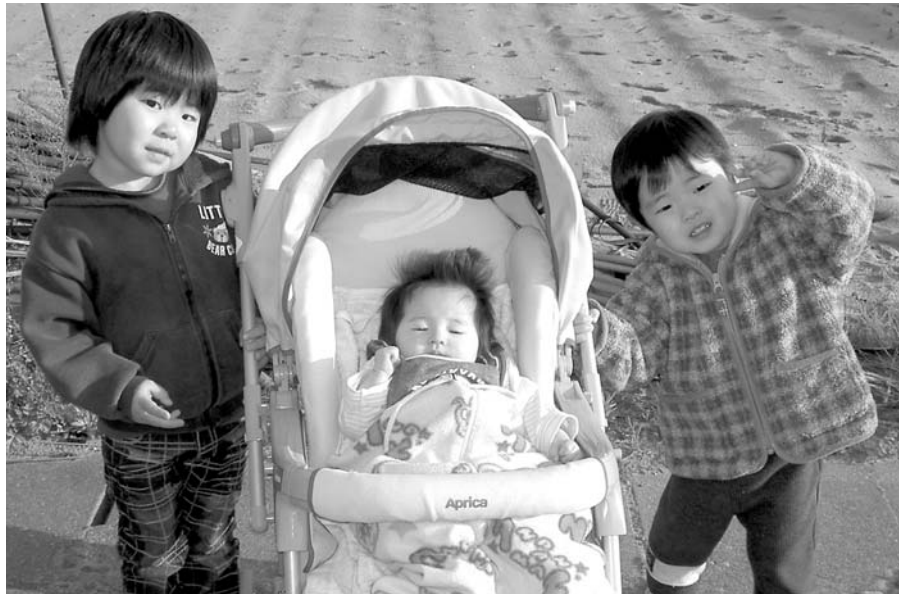
審査の結果

- 19年度一般会計予算
 - 19年度土地取得特別会計予算
 - 19年度墓地特別会計予算
 - 18年度一般会計補正予算
 - 18年度土地取得特別会計補正予算
 - 18年度墓地特別会計補正予算
 - 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定
 - 副市長定数条例の制定
 - 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
 - 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
 - 金沢市・かほく市・津幡町・内灘町消防通信指令事務協議会の設置
 - 石川県市町村消防団員等公務災害補償等組合規約の変更
 - 石川県市町村消防賞しゅつ金組合規約の変更
 - 石川県市町村職員退職手当組合規約の変更
 - 石川中央広域圏協議会規約の変更
 - 公の施設の指定管理者の指定
- (以上、全員賛成)
- 総務常任委員会
委員長 沖津千万人
副委員長 金田 正信
委員 寺内 照雄
荒井三喜雄
杉本 正一
安達 肇



新川ケーブルテレビの視察（魚津市）

新生児の家庭に 3万円の商品券を支給



なかよし3人兄弟

おもな質疑

(所管事項含む)

山田委員 不妊治療費の助成について、補助の対象に所得制限があると思うが、酒尾子育て支援課長、所得控除後の所得額で、一般不妊治療は650万円の所得制限がある。特定不妊治療については、650万円から730万円に拡大された。

別宗委員 図書購入費とあるが、この図書の選定方法は。

川島生涯学習課長 図書館の職員で選定会議を行っている。新書発刊の案内や読者の要望などについても、この会議で選ばれている。

遠田委員 生ごみ処理機設置補助金を利用した人数はどれくらいか。

高橋環境安全課長 合併する前からの制度であり、累

計はだせないが17年度で21件、18年度の10月までで18件。

猪村委員 個人で持っている薬・薬品の回収システムを構築すればいいと思うが、高橋課長 インシユリン注射の針とか特殊なものなど、分類しながら河北郡市広域事務組合の課長会議、あるいは担当者会議で議論したい。

山口委員 要・準用保護児童就学援助費の実績は。

松本学校教育課長 小学校ベースで、16年度149名、17年度159名、18年度179名、中学校では16年度47名、17年度58名、18年度81名。

山口委員 七塚小学校の耐震工事費で、窓わく・トイレの改修は含まれているのか。

松本課長 窓わくについてはグラウンド側と南校舎。トイレは設備の根本的なものはしないが、臭気のきつい男子トイレを集中して改修したい。

審査の結果

- 19年度一般会計予算
- 19年度国民健康保険特別会計予算
- 19年度老人保健特別会計予算
- 19年度介護保険特別会計予算
- 18年度一般会計補正予算
- 18年度国民健康保険特別会計補正予算
- 18年度老人保健特別会計補正予算
- 18年度介護保険特別会計補正予算
- 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正
- 乳幼児医療費給付に関する条例の一部改正
- スポーツ振興基金条例の一部改正
- 河北郡市広域事務組合規約の変更
- 河北郡市斎場施設組合理約の変更

(以上、全員賛成)

市民文教常任委員会

委員長 多々見 武
副委員長 山口博之丞
委員 猪村 博靖
別宗 明敏
山田 孝一
遠田 順

渋滞緩和の 道路整備



今夏開通予定の河北縦断道路（鉢伏地区）

おもな質疑

(所管事項含む)

宇野委員 水田農業推進協議会を設立し、小規模農家に対し(産地づくり交付金)により各種助成が受けられるよう指導していくとあるが、その支援策は。

大西農林水産課長 協議会で各種団体の意見を拝聴して支援策を決定したい。

竹内委員 地域農産物ブランド化推進事業は2年目になる。6品目の中で、かほつくりの成果が出ているようだが、五郎島金時が盛んにテレビに宣伝している。これに負けない方策を。

大西課長 6品目それぞれ戦略策をもって取り組んでいる。かほつくりのCMや加工品開発、品種改良に意欲的に取り組んでおり、効果が出ているようだ。推進

事業は、5年間継続して支援していきたい。

西田委員 シルバー人材センターの活動状況は。

沖野商工観光課長 1月末現在189名の会員を有している。作業内容は庭園の樹木管理が主で行政が4割、民間が6割の仕事をしている。1月現在で受託件数が1千134件、契約額5千920万円。

杉本委員 消雪装置の今後の新規採択は。

田丸建設課長 交通量が多い、道路勾配がある、人家が連担して機械除雪が困難な箇所を優先に考えていきたい。

杉本委員 イオンが進出し、人口増加や交流人口の増加等メリットが多い。交通渋滞解消に交差点改修を施行されているが、かほく縦断道路が夏に開通した場合、狩鹿野線の渋滞が心配、一日も早く全線開通を。

田丸課長 平成19年度は上山田、御門までの用地買収を進める。一日も早い全線開通を要望していきたい。交通安全対策について、国交省、津幡警察と協議を重

ねてイオン周辺の交通体系をつくりたい。

杉本委員 コミニティバスの実証実験とは。

沖野課長 生活に密着したバスで病院、金融機関、スーパー、公共施設が点在しているところを巡回する。地域交通会議を立ち上げて、市民の意見を聞きルート選定して本年度実証実験に入りたい。

審査の結果

- 19年度一般会計予算
- 19年度市営バス事業特別会計予算
- 19年度大海財産区特別会計予算
- 19年度下水道事業特別会計予算
- 19年度水道事業会計予算
- 18年度一般会計補正予算
- 18年度市営バス事業特別会計補正予算
- 18年度下水道事業特別会計補正予算
- 18年度水道事業会計補正予算
- 農業委員会委員の定数条

例の全部改正

● 水道事業給水条例の一部改正

● 公共下水道条例の一部改正

● 市道の路線認定

● 市道の路線変更

(以上、全員賛成)

産業建設常任委員会

委員長 富澤 明次
副委員長 宇野 順一
委員 杉本 成一
西田 正剛
竹内 幹雄
中村 修一